



第6期宮前区区民会議
第7回地域福祉部会 ～多世代による地域支え合い～
みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成29年5月1日（月）18：00
宮前区役所4階第1会議室

次 第

1 議事

(1) 委員からの情報提供について

(2) 意見交換

(3) その他

2 その他の連絡事項

今後の日程について

| | | | |
|---------|-------------|----------|-------|
| 第4回企画部会 | 5月18日（木）18時 | 会場：区役所4階 | 第2会議室 |
| 第5回全体会 | 6月16日（金）18時 | 会場：区役所4階 | 大会議室 |

配布資料目次

資料1 委員名簿

資料2 第6期スケジュール案

資料3 第6回地域福祉部会 審議要点メモおよび委員からの情報提供

第6期宮前区区民会議 委員名簿

資料1

| 氏名 | 新任／再任 | 役職 | 所属部会 | 分野・団体名 |
|----------------------|-------|------|--------|------------------------------------|
| カワダ カズコ 川田 和子 | 再 | 委員長 | | ①防災・地域交通 宮前区自主防災組織連絡協議会 |
| アオヤギ カズミ 青柳 和美 | 再 | 副委員長 | 地域福祉部会 | 区長推薦 |
| オイカド トシコ 老門 聰子 | 新 | | | ③子育て・教育 宮前区こども・子育てネットワーク会議 |
| ナカザト フミオ 中里 文雄 | 再 | 部会長 | | ③子育て・教育 宮前区民生委員・児童委員協議会 |
| ツバキ マサミ 樺 雅美 | 新 | | | ③子育て・教育 宮前区地域教育会議 |
| スナガワ テツオ 砂川 徹夫 | 新 | | | ⑤産業・まちの活力 宮前区商店街連合会 |
| ナカムラ フサヨ 中村 布佐子 | 新 | | | ⑥文化・観光 宮前区文化協会 |
| タキモト クミ 滝本 久美 | 再 | | | ⑧地域特性 みやまえ情報ラボ |
| オオクボ マサカツ 大久保 正克 | 新 | | | 公募 |
| カサイ イクコ 葛西 育子 | 再 | | | 区長推薦 |
| オダ イクコ 小田 育子 | 再 | | | 区長推薦 |
| カゲヤマ イシロウ 影山 亥史郎 | 新 | 副委員長 | 地域活性部会 | ④自然・生活環境 グリーンフォーラム21みやまえ世話人会 |
| オイカド タイソウ 老門 泰三 | 新 | | | ②福祉・健康 社会福祉法人宮前区社会福祉協議会 |
| オオキ ジロウ 大木 次郎 | 再 | | | ②福祉・健康 宮前区スポーツ推進委員会 |
| ヤマダ カツラ 山田 桂 | 再 | | | ⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区） |
| クロサワ カツミ 黒澤 克實 | 再 | | | ⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区） |
| タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎 | 再 | | | ⑧地域特性 宮前区まちづくり協議会 |
| ヤマベ キヨミ 山部 清美 | 新 | | | 公募 |
| アラカワ ヨウコ 荒川 洋子 | 新 | | | 公募 |
| サトウ タカフサ 佐藤 貴房 | 新 | 部会長 | | 公募 |

第6期宮前区区民会議の進行イメージ

資料 2

| 年度 | 月 | 進行の目安 | 全体会・部会等の開催 | 備考 |
|----|---------------|--|------------------------------|--------------------|
| 28 | 4 | | 4/20 事前打ち合わせ会 | |
| | 5 | 地域課題の検討 テーマ分野・分類の絞り込み | 5/20 第1回全体会 | 委嘱状交付 各委員から課題発表 |
| | 6 | | 6/13 第1回準備部会 | 委員からテーマ出し |
| | 7 | | 7/14 第2回準備部会 | 専門部会構成案作成 |
| | 8 | 専門部会発足 (仮称)で始動 各テーマの現状 調査、目指すべき姿、理想像の 確認 | 8/4 第2回全体会 | 専門部会立上げ |
| | 8 | | 8/29 地域福祉部会① 8/30 地域活性部会① | 部会テーマの更なる 絞り込み |
| | 9 | | 9/16 地域福祉部会② 9/9 地域活性部会② | |
| | 9 | | 9/30 企画部会(1) | |
| | 10 | 解決すべき課題 の洗い出し、先進事例の リサーチなど | 10/6 第3回全体会 | |
| | 10 | | 10/24 地域福祉部会③ 10/27 地域活性部会③ | |
| | 11 | | 11/28 地域福祉部会④ 12/2 地域活性部会④ | 先進事例・現地視察等 |
| | 12 | | 12/22 企画部会(2) | |
| 1 | フォーラムの企画・準備など | 1/13 第4回全体会 | | |
| 2 | | 2/1 地域福祉部会⑤ 2/3 地域活性部会⑤ | 2/6 区民会議交流会 | |
| | | 2/16 企画部会(3) | | |
| | 3 | 3/11 区民会議フォーラム | | |
| 29 | 4 | 課題解決に資する 取組提案の検討 | 4/10 地域福祉部会⑥ 4/14 地域活性部会⑥ | |
| | 5 | | 5/1 地域福祉部会⑦ 4/28 みやまえ活性部会⑦ | |
| | 5 | | 5/18 企画部会(4) | |
| | 6 | | 6/16 第5回全体会 | |
| | 7 | 取組提案の試行 と検証など | 7/10 地域福祉部会⑧ 7/14 みやまえ活性部会⑧ | |
| | 8 | | 7/31 地域福祉部会⑨ 8/4 みやまえ活性部会⑨ | |
| | 8 | | 9/1 企画部会(5) | |
| | 9 | | 9/15 第6回全体会 | |
| | 10 | | 10/16 地域福祉部会⑩ 10/6 みやまえ活性部会⑩ | |
| | 11 | | 11/10 企画部会(6) | |
| | 12 | | 12/1 第7回全体会 | |
| | | | 区長への提案 | |
| 1 | 第6期の総括 | 1/11 企画部会(7) | | |
| 2 | フォーラムの企画・準備 | 2/9 第8回全体会 | | |
| 2 | | 2/22 企画部会(8) | | |
| 3 | | 3月中旬頃 区民会議フォーラム | | |

第 6 回地域福祉部会 審議要点メモおよび委員からの情報提供

平成 29 年 4 月 10 日（月）18:00～20:00 宮前区役所 4 階第 1 会議室

参加委員：中里部会長、川田委員長、青柳副委員長、老門（聡）委員、大久保委員、
小田委員、砂川委員、椿委員、滝本委員、中村委員（10 名）

【審議結果まとめ】

■今後の審議の方向性

テーマ：認知症の理解の・地域支援（フォーラムの結果を受けて）

- ①フォローアップ研修、ケーススタディや話し合いを蓄積する場の構築
- ②他の企業や団体に参加してもらえる取組や場の形成

テーマ：企業や商店の場・スペースの活用、みんなの食堂・地域のたまり場

- ・宮前区の現場のニーズ（もしくはその調査方法）
場からでなく、現場のニーズ、担い手などから起こしていく事が必要
- ・困っている人を地域福祉の制度につなぐしくみとして
前期提案「ほっとやすらぎステーション」の内容も踏まえて

■部会名称

「地域福祉部会 ～多世代による地域支え合い～」に決定



追加意見やアイデア、事例の情報・資料等があれば、21 日（金）までに、事務局に提出するものとする。（次回資料、事前送付資料に反映）

▶委員からの情報を次ページに掲載

委員からの情報提供

青柳委員

目的：多世代の集う場所づくり

内容：認知症など病んでいる人や家族、食事が満足に摂れない子ども、寂しい思いをかかえている人、自分の持っている技を教えたい人が集まり、楽しい時間を過ごし、人がつながる。

場所：

①建物内

公共施設使用…例えばアリーノ生涯学習支援施設、子ども文化センター、
いこいの家、町内会、自治会会館、学校特別教室

民間施設…一般民家、店舗…呼びかけて募集する、東急電鉄、不動産会社、
スーパー、商店会

②戸外

公共施設…公園、校庭。開催日にテントを張り場所を設置

運営資金：

- ①広く資金援助を呼び掛け募集（企業、団体、民間）
- ②参加者から、運営資金確保のため最低限の参加費徴収
- ③物品、食材など協力賛同者から提供してもらう。

担い手：サポーターとして、公募して区からの認定を受け登録された人が携わる。

※認定書を発行する

※現在活動されている団体などの人たちを考慮する

開催頻度：月1回（時期をみて月2回を目標とする）

子どもの居場所づくり例

キャリア教育支援を活動の中心とする認定 NPO キーパーソン 21 が それとは別に地元貢献のため実施している子どもの居場所づくり活動

1. なかはら “わくわく” 学習会（略称：なかわく）

- 川崎市の学習支援・居場所づくり事業を 2015 年度より受託。
- 2 箇所の実施場所（向河原、武蔵中原）で、各々週 2 回 2 時間ずつの学習支援実施。
- 対象は市内在住の経済的困難を伴う中学 1～3 年生。
- 学生を含む有償ボランティアがほぼマンツーマン体制で対応。

2. 武蔵小杉 “わくわく” 学習室（略称：こすわく）

- 自主事業としてスタート、企業協賛金と寄付により運営。
- 武蔵小杉で週 2 回 2 時間ずつの学習支援、半分は外国人講師による英会話。
- 対象は市内の経済的困難を伴う中学生・高校生。

地域の縁側づくり例

居住者たちと地域住民がコミュニティを形成して住み慣れた地域に住み続けようというプライベート版・地域包括ケアシステム作り

3. 荻窪家族プロジェクト

- 東京都杉並区荻窪にある地域開放型シェアハウス。
- 高齢者を中心とするワンルームのシェアハウス
- 居住者用共用スペースに加え、地域開放型共有スペースでいろいろなイベントを開催
… 百人力食堂・裏百人力食堂・荻窪暮らしの保険室・ふらっとお茶会・
ちよこっと塾・こもどサロン

4. 笑恵館（しょうけいかん）

- ・ 親の代からの木造モルタル 2 階建アパートと パン屋を併設したコミュニティ・スペースを持つ大家宅を活用した世田谷区砧の事例。
- ・ 常設のパン屋・ミニショップ・自主事業としてのイベント+会員主催のイベント。

（3, 4 についての関連資料を次回の地域福祉部会で回覧します）

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

【番外編】 平成 27 年 10 月に文京区駒込の「こまじいの家」を訪問した時の報告書に事例を検討するときの参考になりそうなものがありましたので提供します。

「こまじいの家」オーナーが遺産相続した空家の活用を地域活動センターに相談、センター所長が駒込地区地元 12 町会に働きかけ、「地域の底力再生助成金」を活用、町会も運営費を分担することが決まりスタート。

運営は実行委員会形式で、12 町会連合会、民生委員、囲碁指導者連絡会、地域活動栄養士会、地元東洋大学学生などの 12 団体 40 名で、平成 25 年にスタート。成功のポイントは以下の 7 点。

【成功のポイント 7 点】

- ① 需要と供給のベストミックス
- ② 必要とする側の想い、提供する側の情熱・努力・誠実さ
- ③ 運営・協力する団体とボランティアの組み合わせ、調整力
- ④ 利害の異なる町会の調整と説得
- ⑤ 負担を軽減する仕組み→コアメンバーによる週一の打合せ
- ⑥ みんなが「すこしづつできること」を心掛ける
- ⑦ 失敗を恐れず、まずやってみるという前向きな対応

■ 認知症の理解と地域での支援活動について

① 認知症家族会「すみれの会」 代表：鈴木雅子さん

- ・ 宮前市民館菅生分館と「鷲ヶ峯」で認知症を理解する講座を開いた。
- ・ 講座は菅生分館の依頼で公開講座として開講。
- ・ 地域包括支援センターの職員にも出演してもらい、地域のボランティア劇団による劇を上演することもある。中学校で出前劇を行うこともある。

② 高齢者見守りサポート「あい」…菅生、犬蔵、平方面の地域で活動。

③ 男性ボランティア団体「21会」(ニイチカイ)

- ・ 20年ほどの活動実績があり、様々な事柄に対応している。
- ・ 向丘出張所2階で「21カフェ」を開催。
- ・ 要望があれば、子どもへの支援も行うことが可能と考える。

■ 子どもを対象とした支援活動を行っているグループ・団体の情報

① 「風の泉」

- ・ 地域と学校をつなぐ活動 中心的存在は川西和子さん(過去の区民会議委員)
- ・ 小学生に「かけ算九九」を教える。(支援を行う学校が増えている。)

② 土橋小学校「ふれあいマンデー」

- ・ 立ち上げて10年くらい。今でも続いているかはわからない…

③ 「いぬくら子ども文庫」 代表 渡部康夫さん

- ・ 渡部さんの自宅を開放して、地域の子供達に居場所を提供。
- ・ お話会、工作、小さなイベントなど。若いママさんも一緒に楽しむ。全て自費で運営

■ 多世代が一緒に過ごす場とイベント

① 「ふらっと大塚」

- ・ 大塚町内会福祉部が催すたまり場。対象は小学生以上。飲物・おやつ(100円)。
- ・ 小イベント…4月は「端午の節句」の兜づくり

② 「子育て支援センターすがお」

- ・ 子ども、ママさん、高齢者が一緒に遊ぶ

① 認知症について

今回の区民会議フォーラムにて「認知症サポーター養成講座」を開き、企業及び中学生の参加が得られ地域住民の横の拡がりができた事が大変良かったと思います。

また、地域の事例として「宮崎台つどいの家」で小学生が参加した「認知症キッズサポーター養成講座」も開催されたようで、認知症が地域に理解される機会が増えているようです。

② 地域での組織・団体の福祉活動現況

各地域で子育て中の親子を対象とした「子育てサロン」「子育てグループの自主活動」、高齢者を対象とした「食事会」「サロン」「カフェ」等も徐々に立ち上がっています。

③ 「なかよしサロン」(宮前第一地区)

宮前第一地区(野川地区)の民児協で今年2月に立ち上げた「なかよしサロン」では、月一度「どなたでもいらしてください」とサロンを開いています。参加者のほとんどが高齢者です。そこで8月に子どもに重点を置いた「昼食会」を開催しようと予定しています。皆様の参考意見があればお伺いしたいです。

④ 「ほっとやすらぎステーション」(前期提案)

前期(第5期)宮前区区民会議提案の「ほっとやすらぎステーション」の取組(相談カードの設置)も効果が期待されます。

⑤ 地域包括支援センターの紹介

前回の部会で砂川委員からの近況報告の中、高齢者の姉妹のお客様の対応で困っている(地域包括支援センターをどうやって紹介しよう?)とのお話を伺いました。



地域福祉コンシェルジュ(地域福祉協力隊)制度の創設

- ①～⑤の様な、各地域で少しずつ広がる福祉活動を結びつける手法として
(詳細次ページ)

地域福祉コンシェルジュ（地域福祉協力隊）制度（案）

- ・ 「地域福祉コンシェルジュ」という認定制度。（認定証の発行）
- ・ 地域福祉コンシェルジュは地域の子育て・高齢者福祉等で困っている人の相談に乗り、各福祉組織団体や行政等につなげていく役割を担う。
- ・ 専用の福祉講座を開講し、受講してもらう（認知症サポーター養成講座も含む）
- ・ 講座の内容：福祉に関する行政の組織・制度（どこにつなげれば良いか）
地域で活動をしている団体、組織の知識。施設の場所と内容
など、福祉に関する基礎知識を研修してもらう
- ・ フォロー研修及び各コンシェルジュ同士の情報交換会を定期的に行う。
- ・ 主に地域で福祉活動をしている組織の人、あるいは個人を対象に受講を依頼する。
- ・ ゆくゆくは地域福祉コンシェルジュが地域の情報交換などで、率先したリーダーシップを発揮し、住みやすい地域ができること。
- ・ 地域福祉コンシェルジュが参加する「サロン」「カフェ」「食事会」等には、入口に「地域福祉コンシェルジュによる福祉相談受付中」などの「桃太郎旗（のぼり）」や「ステッカー」を掲示するのも効果的かも？

■「みんなの食堂」の話をしてみたの反応

①社会福祉法人みのり会 生活支援センターきまっしー

- ・ 地区会館多目的室で軽い障がい者達と、月に1回くらい食事会の開催を希望している。
- ・ 「食糧の問題」「参加する人達」を考えましようと思ちかけられた。

②「ふらっと大塚」

- ・ 民家を利用して立ち上げた、町会運営のたまり場。いろいろと活動されている。
- ・ 町内会長に相談。月1回の開催で持ち主に相談してみるとのこと。

■認知症の取組について

- ・ もっと地域の方に知識を持ってもらいたい。
- ・ 町内会に相談をして認知症サポーター養成講座を開講してもらいたい。
- ・ 特に馬絹においては、他地区と比べて、出足が遅いように感じている。